

中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】T-77

申請日	2025/6/16	承認日	2025/8/22	委員長	印
レジメン登録	2025/8/27	仮承認日		承認者	印

Ami + Lazer 2コース目以降	病名	非小細胞肺癌	呼吸器内科	医師名	Dr
対象	EGFR遺伝子変異陽性進行・再発の非小細胞・非扁平上皮癌(2次治療以降)またはEGFR遺伝子エクソン20挿入変異陽性の非小細胞・非扁平上皮癌				

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m ² 等)	投与方法 div. iv. po等	投与スケジュール (日)																										
			1	5	8	10	15	20	22	29																			
アミバンタマブ(ライブリ バント)	*	div	○					○																					
ラゼルチニブ(ラズクルー ズ)	240mg/Body	PO	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
投与間隔・休薬期間等：28日＝1コース																													
			1コース																										
			*体重によりアミバンタマブの投与量と点滴速度が異なるので注意																										
			【T-76】 Ami+Lazer 1コース目からの移行患者																										

【投与処方例（前投薬など）】

Day1. 15

レスタミンコーワ錠10mg 5錠
カロナール500mg 2錠

/po.ライブリバント投与30分前

Day1. 15

① メインキープ【緑】 生理食塩液250mL / div

- ② メイン【赤-1】 生理食塩液100mL＋デキサート注3.3mg /div 30分
- ③ 【コネクタ1】 ファモチジン注20mg 1A /iv 5分
- ④ メイン【赤-2】 生理食塩液250mL＋ライブリバント* /div 125mL/hr
終了後、メインキープの生理食塩液をすべて投与する

【点滴速度】

体重80kg未満 2コース目 投与量1050mg：125mL/hr

体重80kg以上 2コース目 投与量1400mg：125mL/hr

Infusion reactionがおきた場合、本剤を中断し、主治医に電話を行う。
Garde1.2で治療対応し回復した場合、Infusion reaction発現時の半分の速度で本剤を再開すること。
30分後にInfusion reactionの症状が認められない場合、中断時の速度まであげることができる。

【副作用によるAmivantamabの減量基準】

副作用発現時投与量 1050mg→1段階減量：700mg→2段階減量：350mg
1400mg→1段階減量：1050mg→2段階減量：700mg
3段階減量は中止

【副作用によるLazertinibの減量基準】

初回投与量240mg/日→1段階減量：160mg/日→2段階減量：80mg/日
3段階減量は中止

【検査等確認事項】

心臓等に及ぼす影響 本レジメン開始前に心エコー・心電図検査・凝固検査を実施
DVT、PTEがないか評価を行う
血圧、心臓、血栓に影響を及ぼす薬剤の確認

【注意すること】

静脈血栓症の発症抑制のために、治療開始後4ヶ月以内はエリキュース1回2.5mg 1日2回内服を行う
また、すでに静脈血栓症などがある患者は、エリキュースやDOACの内服を行う
皮膚障害予防として、「EGFR阻害薬の予防セット」を使用する
予防抗菌薬はドキシサイクリンを推奨
また、既存で白癬菌などがないか確認を行うこと

制吐剤セット処方19 2重抗体薬の副作用予防

ライブリバンド投与30分前に内服

レスタミンコーワ錠10mg 5錠

カロナール500mg 2錠

参考文献：ライブリバンド・ラズクルーズ併用適正ガイド